

# 黒部を未来へつなぐ

## 令和2年度黒部市一般会計予算206億4,100万円!

特別会計、企業会計との総額455億2,019万6千円可決(令和元年度予算3月補正6億7,251万円可決)

### <ご挨拶>

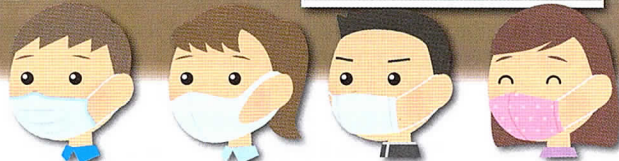
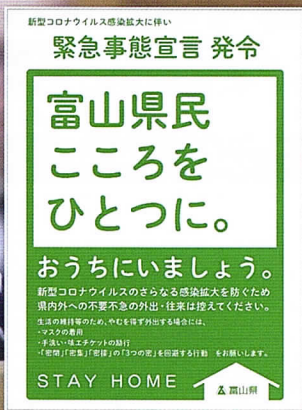
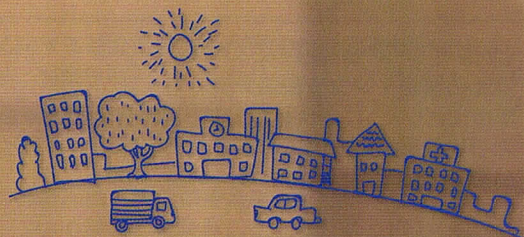
先ずは、新型コロナウイルスの感染拡大により、3密を避けたり、ソーシャルディスタンスを取ったり、人と会う回数を減らす等、皆さんの協力で感染拡大が防げていることに感謝いたします。

そして、第一にその感染の拡大に対して今、手を尽くして対処して下さっている医療従事者の方々や病に向き合っている患者さんの方々に対してエールを送りたいと思います。

どうやってこの災禍に立ち向かっていけばいいのか。これをきっかけに大きく変化すると言われていているウィズコロナ・ポストコロナ社会。

ふるさと黒部が未来永劫続くように今こそ知恵を絞り、より豊かな未来の実現を目指し、覚悟をもってまい進します。

黒部を未来へつなぐ 成川まさゆき



## 黒部は今、分岐点! 先人の努力を次世代へつないでいきたい。



なりかわ 成川まさゆき facebookで活動公開中!



## 【令和元年 12 月議会 代表質問】

### 1. 防災施策について

(問) 非常時の情報連絡・伝達の方法は

(答) 防災行政無線による屋外拡声子局や防災ラジオ、緊急情報メールやみらーれテレビによる L 字放送。代表電話への混線解消策は検討する。



(問) 本市のハザードマップの状況は

(答) 平成 27 年の水防法改正に伴い、現行の「洪水ハザードマップ」を改定することとし、来年 3 月末の完成、その後、市内全戸配布を予定。

### 2. 情報インフラ整備について

(問) 地域の情報インフラ整備計画の考えは

(答) 本市においては、Society5.0 で期待される未来技術と言われる新しい技術には対応できない状況にあり、本市として、様々な分野でその活用が進むよう努める。

### 3. 介護・健康寿命の延伸について

(問) 総合事業の充実強化について

(答) 本市においては「煌 2025 プロジェクト」推進に重点を置き、「地域支え合い推進事業」、「地域支え合い推進養成講座」、「介護支援サポーターポイント事業」を通して、さらに地域での活動を推したい。



今後、下水道未普及地域への管渠整備と農業集落排水処理施設の統廃合を進め、効率的な維持管理に努める。

## 【令和元年 12 月議会 個人質問】

### 1. がん患者の社会復帰支援について

(問) 市内のがん検診の状況とがん相談支援センターの利用状況

(答) ※15 歳から 39 歳までを AYA 世代

検診名(がん)	平成30年度(%)	
	全世代	AYA世代
胃	22.2	
大腸	23.1	
子宮	21.3	14.1
乳	15.9	14.4
肺	44.4	

### 【まさゆきの視点】

がんは生涯で 2 人に 1 人がかかる疾患となっていますが、がんの早期発見と治療法の進歩とともに、生存率が上がってきています。そのため、社会に出て、今まで通り生活している方が増加しています。

しかし、がん患者・経験者とその家族の中には社会的な課題に直面している者も多く存在するのが現状です。がんにかからないようにすることや、かかった後の生活をサポートできる体制を整えることが重要と考え質問しました。

### 2. ユニバーサルデザインについて

(問) まちなか公共交通のユニバーサルデザイン

(答) 中心市街地の道路は、歩行者の誰もが安心してスムーズに移動できるよう、歩行空間の整備に努め、公共交通については、低床車両の導入や待合環境改善を実施している。

(問) 本市「文化財」の防災は

(答) 現在、市内には 68 件の指定文化財があり、市所有の文化財については、各施設で日常点検をはじめ防災訓練を実施。その他の文化財については、所有者の方々が主体となり防災対策を実施。史跡・名勝・天然記念物については、定期的に市職員が巡回し、災害により破損等の恐れがある場合は、所有者の方と連絡を取り、計画的に対応。

(問) 避難所開設キットの導入と避難所運営マニュアルについて

(答) キット導入に関し研究する。マニュアルは、作成から 7 年以上経過しており、内容を見直す。

(問) 健康マイレージの導入について

(答) 65 歳以上を対象に健康診査を 2 か年受診し、かつ黒部市総合型地域スポーツクラブの会員の方で、申請をした場合、教室受講料として利用できる補助券を付与している。今後は、現在の制度を見直し、拡充に向けて、さらに取り組む。

### 4. 下水道事業について

(問) 下水道事業の普及率、水洗化率、今後の計画は

H30年度末	%
利用者数	64.0%
汚水処理施設整備率(合併浄化槽等含む)	95.1%
水洗化率	91.7%

度末	H28	H29	H30
利用者数	216件	332件	577件

(問) 医療用ウィッグや補正下着購入費の助成・交通費補助を。

(答) がん相談支援センターの相談状況、県内市町村及び県の状況を踏まえながら検討する。交通費補助については、がん相談支援センターと協力し、生活全体を支援していく。  
※令和 2 年度予算に計上されました。



(問) 市民ががんについて学ぶ場を

(答) 学校や企業と連携した出前講座の開催や、ケーブルテレビ・市報での周知の機会を増やし、さらに普及啓発を図っていく。

(問) 市発刊印刷物の判別配慮を

(答) 今後、市から印刷物を発行する際には、何を伝えたいのか明確にし、色覚多様性への対応について検討を加え、改善を図っていく。

(問) 本市児童生徒における色覚異常の現状は

(答) 小中学校全体の 9 割以上の児童生徒が受診し、色覚異常と診断された児童生徒の割合は、平成 30 年度で小学校 2.5%、中学校 2.0%。学校生活においては、教員間で情報を共有し、チョークの色使いの工夫や言葉で色を示すなどの配慮をしている。

(問) 小中学校にユニバーサルデザインチョーク導入を。

(答) 現在、小中学校 5 校で使用。他の学校については現在、既に使用している学校の取り組み事例を参考にしながら提案する。



## 皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

後援会  
連絡先

成川正幸(なりかわ まさゆき) TEL (0765)57-1189  
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189  
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com





**(問) 市役所・小中学校にユニバーサルデザインフォント導入を。**  
**(答)** 現在、「広報くろべ」では、ユニバーサルデザインフォントを一部のタイトル等を除き、平成25年7月号から使用している。学校については、今後、校長会などにおいて、どのような利用が有効か検討していく。

**(問) デイジー図書の所蔵数は**  
**(答)** 現在、本市の図書館や学校図書室において所蔵なし。今後、デイジー図書や朗読CDなどの充実を検討する。

**(問) ヘルプマークの普及状況・PR方法等の取り組みについて**  
**(答)** 市として、県とともにPRを図る。

**(問) ユニバーサルデザイン条例の制定を。**  
**(答)** 条例等の制定状況など先進事例等の調査・研究を進め、全庁的に情報を共有し、引き続き、全ての人にやさしい「まちづくり」を推進する。

**【まさゆきの視点】**  
 「ユニバーサルデザイン」とは『すべての人のためのデザイン』という意味です。似ている言葉でバリアフリーという言葉があります。バリアフリーは「障害があるから取り除いてあげましょう。」と言った健常者が障害者に対する配慮です。一方、ユニバーサルデザインは障害あっても大丈夫。一緒に過ごせます。問題ないという健常・障害関係ない相互関係の考え方です。今回、誰もが住みやすい地域になるように質問しました。



## 令和2年3月議会

### 1. 子どもの居場所について

**(問) 「教育機会確保法」の交付前後で、小中学校において不登校児童生徒の変化と現在の不登校数は。**

**(答)**

	H30年度末	H28年度(交付前)	H30年度(交付後)	R元年度累計
小学校		3人	8人	15人
中学校		21人	31人	31人

**(問) 本市での学校での対応と学校以外での対応**

**(答)**

学校	学校以外
・スクールソーシャルワーカーなどの配置。 ・相談できる部屋の確保に努めている。2つの統合中学校は、相談室等の場所を確保予定。今後は県に教員配慮の要望を行っていく。	適応指導教室「ほっとスペース『あゆみ』」を勤労青少年ホーム内に設置。

**(問) 養護教諭に対する考えと生徒指導部会への参加状況は**  
**(答)** 養護教諭は、児童生徒の「心の拠り所」としての重要な役割。養護教諭が生徒指導部会構成員となっている学校は、9小学校のうち6校、4中学校のうち2校。

**(問) 養護教諭の複数配置、加配の考えは。**  
**(答)** 複数配置について重要と考えることから、県と協力しながら対応に努めていく。

**(問) 「子どもの居場所サポーター養成講座」「子どものSOS支援員養成講座」等の開催や子どもの居場所総合相談窓口の設置の検討を**

**(答)** 支援の基礎が出来た上で、ボランティア参加されたい方に対し、活動の心構えや必要な知識などを習得する取り組みを行いたい。相談は、子ども支援課や、黒部市社会福祉協議会で受け付けてお

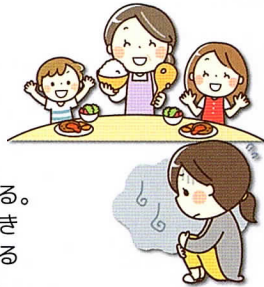
り、今後、新たな子どもの居場所の開設時には、団体が継続して活動できる支援と情報提供を行う。

### 2. 若者の居場所について

**(問) 県「ひきこもり」実態調査結果と相談支援窓口の設置を**

**(答)** 本市の人口に単純に当てはめると、350名弱と推計される。

市では、福祉課が相談窓口となり、関係各課が連携し、支援を実施している。現時点での窓口設置予定はないが、ひきこもりに関する相談窓口を広く周知することは重要であり、関係機関と連携し、支援を充実させる。



### 3. 高齢者の居場所について

**(問) 通いの場の現状と課題は**

**(答)**

地域支え合い推進員数	178名
通いの場数	10地区15会場
通いの場参加数	471名(R元年上半期)延べ8,277名

課題は、この事業の趣旨が、十分理解されていないため、地域での立ち上げの話し合いに至らないこと。

現在、取り組みの周知のために、「通いの場マップ」の作成や、「地域支え合い推進員養成講座」の内容等の見直し検討中。

### 4. 障がい者の居場所(生活の場)について

**(問) 施設・グループホームの状況と自宅居住者は**

**(答)** 新川障害保健福祉圏域(魚津、黒部、入善、朝日)(R元年12.1現在)

検診名(がん)	平成30年度(%)
胃	22.2
大腸	23.1
子宮	21.3
乳	14.4

※障がい福祉サービスの施設入所者及びグループホーム入居者を除く手帳保持在宅者

入所施設	入所者数	空き数
入所施設	154名	無し
グループホーム	157名	17名分

**(問) 障がい者が自立する仕組みの早急な構築を**

**(答)** 今後は、令和3年3月を目標として、地域生活支援拠点等を整備できるよう、関係機関と準備を進めていきたい。

**【まさゆきの視点】**

児童虐待、いじめ、高齢者の孤独死、若者の自殺も無くなりません。そんな中で「居場所が必要だ」という言葉があちこちで聞かれるようになりました。そこで今回は「居場所」をキーワードに子ども、若者、高齢者、障がい者それぞれについて質問しました。

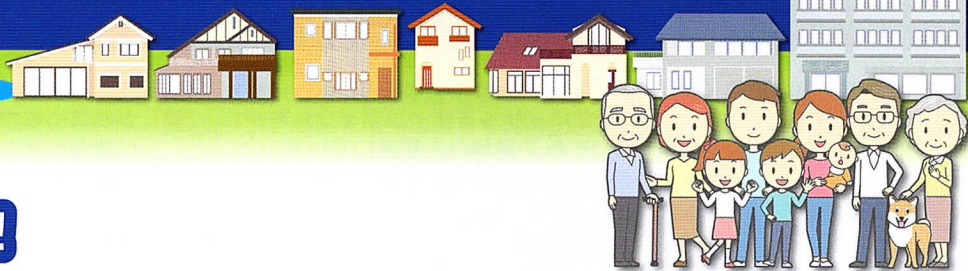


なりかわ 黒部市議会議員  
**成川まさゆき**



facebookで  
**活動公開中!**

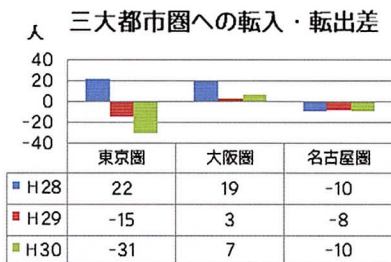
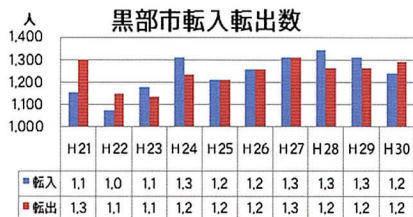




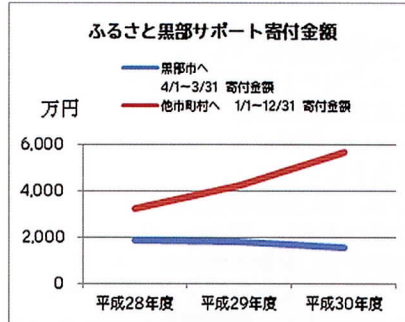
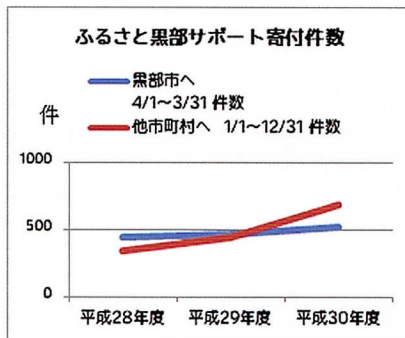
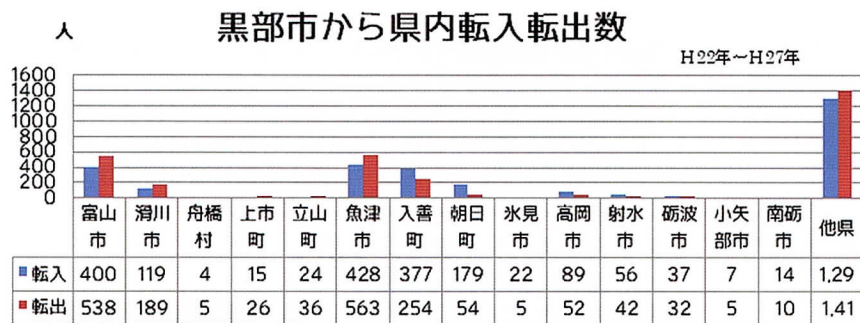
## 黒部市に住み続けよう!

地方都市の人口減少・東京一極集中が止まらない中で、本市も人口減少が続いています。令和2年4月に黒部市人口ビジョン改訂版が発刊されましたので、そこに掲載されているデータを紹介したいと思います。

黒部市への転入転出数を見ると、中でも首都圏が増加し、県内だと魚津市と富山市が転入を転出が上回っています。(三大都市圏は予算特別委員会資料、残りの転入転出数表は人口ビジョンより)



人口流出だけではなく、黒部市民の他自治体への「ふるさと納税」が増加しています。(予算特別委員会資料より)



転出が多い魚津市、富山市との違いを今回は上下水道料金と介護保険料でみてみました。生活するうえでも自治体によって違ってきます。この他にも社会保険料や固定資産税などの税金。公共施設料金や子育て施策などの違いがあります。(市HPより)

#### 上下水道料金

口径20mmで20mmの月額

自治体名	水道	下水道	合計	黒部市との差
黒部市	1,843円	2,951円	4,794円	
魚津市	2,730円	3,550円	6,280円	1,486円
富山市	2,268円	3,024円	5,292円	498円

#### 介護保険料 基準額

自治体名	年額	月額	黒部市との月額差
黒部市	67,200円	5,600円	
魚津市	72,680円	6,057円	457円
富山市	75,600円	6,300円	700円

皆さんは、これらの状況を見てどう思いましたか?

## まさゆき mini 見聞録

## KENBUNROKU



なりかわ facebook で活動公開中!  
**成川まさゆき**



なりかわ  
**成川まさゆき後援会**

〒938-0014 富山県黒部市植木 107-7  
TEL & FAX (0765) 57-1189  
Mail/masa.narikawa@gmail.com